

「佐渡金銀山」保存・活用行動計画  
平成29年度事業点検・評価調書

4- -1

4-  
-1

章	第4章 世界遺産登録に向けた来訪者の受入体制整備		取組項目	解説パネル等の整備
	節	. ガイダンス機能・ガイド体制の充実		
事業(施策)名	1 解説パネル等の整備		事業主体	佐渡市世界遺産推進課
	事業実施期間	H28 ~ H31		関連団体
事業概要	【事業目的】 解説パネル等の整備を通じて、来訪者に各構成資産の価値の理解促進を図る。			
	【事業内容】 最新の調査研究に基づく解説パネルや見学マップ等のガイダンスに必要なとなる基本的な説明媒体の整備を行う。			
⑳ 事業計画と実績	【29年度計画】 平成28年度に実施した既存設置サインの現況調査をもとに、来訪者の現地見学に際して必要なサインの設置箇所を特定するとともに、デザインや解説内容を定めたサイン計画を策定する。 資産の公開・整備内容の方針を定めた史跡整備基本計画を2ヵ年(平成29~30年度)で策定し、その中で解説パネル等の整備内容を検討する。			
	【29年度実績】 サイン計画の策定を行った。 史跡整備基本計画の策定作業の中で、解説パネル等の整備内容を検討した。			
課題・今後の取組	【課題】 解説パネルの表記について、外国語表記や専門用語の解説などについて、関係者による協議が必要である。			
	【今後の取組】 資産の公開・整備内容を定めた史跡整備基本計画(平成29~30年度)を策定するなかで、関係者と協議のうえ、外国語表記や専門用語の解説を検討する。			
事業評価	【事業の達成度】 ( a ● b ● c )		概ね計画どおりに事業が進んでいることから、B評価とした。	
	【事業実施の効果】 ( a ● b ● c )			
	【総合評価】 ( A ● B ● C )			

a: 進んでいる。高い。

b: 概ね順調。概ね適切。

c: 遅れている。低い。

A: 計画を上回る進捗で、十分な成果が得られている。

B: 概ね計画どおり進んでおり、一定の成果が得られている。

C: 計画から遅れが見られ、十分な成果が得られていない。